

当麻町まち・ひと・しごと地方版総合戦略の推進および
地方創生交付金事業に関する効果検証会議(書面会議) 結果報告

当麻町まち・ひと・しごと地方版総合戦略の推進および地方創生交付金事業に関し、外部有識者による効果検証を実施するものです。なお、本年度につきましては、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、外部有識者から期日までに書面により評価を行っていただく形で実施しております。

【外部有識者】

区分	団体及び所属等	氏名
産	当麻町森林組合 代表理事組合長	中瀬 亘
官	当麻町副町長	遠藤 憲彦
学	当麻町教育委員	森脇 幸司
金	北洋銀行当麻支店 支店長	浅野 憲一
労	当麻町社会福祉協議会 事務局長	西畑 雅仁
言	旭川ケーブルテレビ株式会社 取締役 技術制作部長	齋藤 裕一

(敬称略・順不同)

【オブザーバー】

北海道上川総合振興局 地域創生部 地域政策課

【事務局】

事務局長 まちづくり推進課 課長 中山 真由美
まちづくり推進課 地域振興係 係長 須藤 将仁
まちづくり推進課 地域振興係 主事 福屋 翔太

【地域再生戦略交付金】木育推進拠点施設整備事業

内閣総理大臣より地域再生計画「木でつなぐ輝くわがまち創造計画」認定を受け、内閣府所掌である平成26年度補正予算 地域再生戦略交付金採択を受け「木育推進拠点施設整備事業」を実施しました。

【概要】

当麻町が推し進めている、豊かな森林資源を活用し、循環型の森林整備による林業振興の推進を最大限に発揮できるよう、地域の木材を地域で加工する木工技術者などの新たな雇用の場を創出し、産学官連携により多角的な発想で付加価値を高める加工品開発・ブランド化を進めると共に、「木育」の視点を取り入れた当麻町ならではのプロモーションにより、まちのにぎわいの創出、また、木とふれあえる木製遊具コーナー、木育体験プログラム実施などにより交流人口の拡大を目指すとともに、障がい者の就労の場および活動の場を創出するものです。

【事業費】

総事業費は5億3,900万円。その内、おおよそ2分の1にあたる2億6,369万1千円が地域再生戦略交付金、残りおおよそ2分の1にあたる2億5,960万円は国の補正予算に対応した充当率100%、うち50%が地方交付税で算定措置される一般補助施設整備事業債を活用し、残りは一般財源1,570万9千円。

【本事業における重要業績評価指標 (KPI) ※基準比較年度は平成26年度】

- ・交流人口(利用者数)の増
令和元年度最終指標値 8,000人 → 令和元年度実績値 19,435人 (達成率242.9%)
- ・雇用者数の増
令和元年度最終指標値 15人 → 令和元年度実績値 13人 (達成率86.6%)

【KPI達成(進捗中)に対する外部有識者からの評価】

非常に有効である ・ 有効である ・ おおむね有効である

あまり有効ではない ・ 全く有効ではない

(有識者会議意見)

- ・管理を行っている事業所のHPを拝見したが、締切日以降の求人情報が掲載されていた。また、イベント情報や体験プログラムの掲載も定期的に更新した方が良いと思う。
- ・町内の方は公民館や図書館などの施設を利用、町外の方は木遊館を利用しているなど、施設としての住み分けができていていると思う。